

なんきよくたんけんごっこ

昭和五十九年度 一年男児

ぼくはみずぐちくんとなんきよくたんけんごっこをしてあそびました。うんどうかいのときにつかうしきものでテントをつくることにしました。みずぐちくんにしきものはじをおさえてもらって、ぼくがまどやたたみにしきものをセロテープではりつけました。

でも、右のほうをはると左のほうがとれてなかなかうまくできませんでした。

「おかあさん、うまくできないよう。」となきだしそ  
うなこえでいったら、

「それじゃ、てつだってあげようね。」といって、ガムテープをもってきました。テントのおくになるほうをまどにはって、左はぼくのつくえにはって、右はいすをおいてはりました。

やっとテントができました。ぬいぐるみのいぬを、

タローとジローにしました。ぼくとみずぐちくんとタローとジローは、テントの中にはいりました。そしてテントのそとに、ぬいぐるみのペンギンをおきました。中は、せまくてさわげないから、おかしをたべながら、タローとジローに、

「ほら、ここなんきよくだから、ペンギンがいるんだよ。」とおしえてあげました。

それから、だんボールばこをそりにして、タローとジローにひっぱらせて見まわりにいきました。みずぐちくんがむちでタローとジローをたたきました。